

令和4年度 笠間市教育委員会外部評価報告書

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行うことになっていきます。

令和3年度に教育委員会が行った主要な8事業の外部評価を行いましたので、評価結果について、次のとおり報告します。

(1) 外部評価委員会

開催日 令和4年10月6日(木)

場 所 笠間市役所/教育棟 2階 2-2会議室

(2) 点検・評価事業一覧及び評価結果

No	事務事業名	担当部署	評価結果
1	図書館サービス事業	図書館	現行どおり継続
2	公民館講座運営事業(岩間)	公民館	改善し、継続
3	人権教育事業	生涯学習課	改善し、継続
4	日本遺産推進事業	生涯学習課 文化振興室	改善し、継続
5	東京2020ホストタウン推進事業	生涯学習課 スポーツ振興室	改善し、継続
6	スクールソーシャルワーカー配置事業	学務課	改善し、継続
7	運動部活動指導員配置事業	学務課	現行どおり継続
8	給食管理事業	学務課 おいしい給食推進室	現行どおり継続

(3) 改善評価となった事務事業に対する意見及び対応

意見	対応
公民館講座運営事業(岩間)	
多世代交流を通じた地域交流の拠点となるような取り組みを期待したい。	企画した講座から定期利用に繋げることにより、多世代の地域交流を継続することを目標に取り組んでまいります。
講座の内容について、地域課題解決との結びつきが強い内容も積極的に導入をしていただきたい。(企業・NPOとの連携)	現在も、大半の講座をSDGsと関連付けて企画するとともに、企業や大学、NPOの協力をいただいておりますが、さらなる導入を検討し地域の課題解決に繋げてまいります。
人権教育事業	
オンライン活用をさらに視野に入れても良いのではないのでしょうか。	昨年度よりYouTubeLiveを取り入れており、講師のご都合にもよりますが、可能な限り、オンラインを活用して参ります。また、地域の学習拠点としての公民館の役割を尊重しつつ、参加者が聞くだけでなく、意見交換の機会を設けるなど、会場へ来ることの価値を高めていく開催方法も検討して参ります。
参加者のアンケート等を指標に使っても良い。本事業の成果をどのように評価し、事業改善に結び付けていくのか。	アンケートの指標化につきましては、次回の教育振興基本計画の改定に合わせ、検討して参ります。また、本事業の成果につきましては、継続し開催することが一番の成果と考えており、参加者のアンケートを、次年度の講演内容に反映できるよう取り組んで参ります。
日本遺産推進事業	
市民への周知(SNS等)回数や中身を工夫されると良いと思います。若者を巻き込む仕掛け・地域外への周知をさらに工夫されると良い。	市民や地域外への周知(SNS等)回数を増やし、工夫した内容でPRを進めます。若者を巻き込む仕掛けについては、今後、実現できるよう検討して参ります。
今後は事業拡大よりも事業の精選をして、重点的に取り組んでいく方向性がもとめられるのではないかと。	現在の事業計画を実行する中で、選択と集中を念頭に置き、より効果的な事業に取り組んで参ります。
東京2020ホストタウン推進事業	
多くの団体との関わり、ホストタウン同士の連携が増えるとさらに良いのではないかと。費用のかからない工夫を期待する。	他団体との情報交換の機会などについては、茨城県へ要望して参ります。 令和4年度以降につきましては、ホストタウンとなったことで創られた各国との交流を、大使館を通じて継続するとともに、陶芸の里ハーフマラソン大会や、ムラサキパークかさまなどのオリンピックレガシーの継承に取り組んで参ります。
スクールソーシャルワーカー配置事業	
多様なケースへの対応が求められ業務集中が懸念されるサポート体制の充実、役割を明確化させることが求められる。	スクールソーシャルワーカーが対応する事案が増え、市内学校長からも増員の要望が出ていることから、令和5年度のソーシャルワーカー増員に向けて、予算の確保と人選を進めていきます。